

地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

地域の活動



Vol.30

2019年1月発行

自分たちでも出来る安心・安全な地域づくり 山路地区健康福祉委員会の住民主体の支え合い活動



今回の「地域のいきいき活動」は、山路地区健康福祉委員会の支えあいの活動である「こども見守り隊」の活動をご紹介します。地区の子どもたちの通学路の安全の確保と防犯のために、地区が主体的に活動しています。この日も、通学中の子どもたちが足を止め、学校生活やクラブ活動の出来事について短い時間ではありますが談笑されており、この活動を通して子どもから大人の繋がりが育まれているようでした。見守り隊の男性にお話を伺ったところ、「朝は女性達が忙しいけん、わしらにできることをやりようがよ。」と笑顔で話してくださいました。

これからも、「こども見守り隊」の活動を通して山路地区の子どもたちの成長を見届けてくれることと思います。

また、山路地区は高齢化率が約44%（平成30年12月時点）と高く、高齢者のお宅を訪問して何気ない会話を楽しむ自然体な見守り活動も行っています。

その他、集会所や公園などを拠点に介護予防運動等にも積極的に取り組んでおり、奥山路・下木戸・本村の3箇所で行っている週1回（日）の朝のラジオ体操には多くの地域住民が集まります。山路地区では、地域住民ができる支え合い活動を自ら創出し、子どもから高齢者まで地域全体で生き生きと安心して暮らせる地域づくりに努めています。今後も山路地区の活動に注目していきます。

